

Special Feature

特集

「介護離職ゼロ」へ向けた 政府・企業の取り組み

超高齢社会で介護が必要な人が増えるなか、家族介護者が仕事と介護の両立が困難になり、仕事を辞める「介護離職」が問題になっている。介護離職は本人の経済的な不安につながるだけでなく、少子化で労働人口が減っているなかで社会的にも大きな損失となる。

企業の介護離職防止の取り組みを進める経済産業省と、両立支援に取り組むケアマネジャーの認定資格である「ワークサポートケアマネジャー」を創設した日本介護支援専門員協会に、それぞれ話をうかがった。

インタビュー

仕事と介護の両立支援を推進する 経営者向けガイドラインを作成

水口怜斉さん

経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 課長補佐

鶴山あかねさん

同課 係長



インタビュー

ワークサポートケアマネジャー養成を推進 施設ケアマネジャーも対象に



七種秀樹さん

一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長

一般社団法人長崎県介護支援専門員協会 会長